

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	北区市民部地域振興課(757-2407)
-----	-----------------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市篠路コミュニティセンター	所在地	札幌市北区篠路3条8丁目11-1
開設時期	昭和60年10月19日	延床面積	1960.47㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	【1階】ホール、集会室、図書室 【2階】会議室、料理室、和室、視聴覚室、藍染室		
2 指定管理者			
名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ		
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和5(2023年)年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことにより、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和3年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価												
1 業務の要求水準達成度															
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼法人の理念である地域を豊かにする働き方として、「利用者との協同」「地域との協同」「働く仲間との協同」に基づき、次の基本方針を策定</p> <p>①気軽に立ち寄りやすい雰囲気をつくります</p> <p>②既存のコミュニティと共存する新しいコミュニティをつくります</p> <p>③地域の生涯学習の拠点としての情報を発信します</p> <p>④区民のニーズおよび市の施策に即した講座・事業を企画します</p> <p>⑤スタッフの専門性を高め、生涯学習についての身近な相談窓口となる機能を構築します</p> <p>⑥歴史ある地域の特色を活用した生涯学習の場を提供します</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼次の基本方針を策定</p> <p>①情報を広く市民に知らせます。</p> <p>②利用の公平性を確保します。</p> <p>③誰にでも開かれた運営をします。</p> <p>④利用に際し必要な支援と設備環境を整えます。</p> <p>▼取組み実績について</p> <p>1.貸室の公平性の確保 札幌市市区民センター条例、施行規則、使用承認取り扱い要領、使用許可に係わる審査基準を遵守している。定期的な利用者も、初めての利用者も、公平公正に対応し、利用方法や予約の手順、キャンセル制度の説明を、その都度丁寧に行なっている。</p> <p>2.区民講座・交流事業 館内掲示、札幌市からのお知らせ、地デジアプリ、ふりっぱー、こみしん(センターの広報紙)、ホームページにて情報を発信している。地域の郵便局や銀行などにポスターを掲示している。 講座の申し込みが定員を超える場合には、講師と相談の上、定員数を増加して希望者全員が受講できるように行い、定員に満たない場合には講師と調整しながら申込期間の延長をするなどして受講者を募り、定員に満たない人数でも開講している。 交流事業では、介護予防センター篠路と共催の「はつらつ健康体操教室」を継続して行っている。 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底するため内容の検討、検温、消毒の徹底に取り組んだ。</p>	<p>▼策定した基本方針により、適正に管理運営を行うことができた。</p> <p>▼生涯学習の拠点として地域利用者のニーズに応じた講座や事業を行なっている。</p> <p>▼基本方針に基づき、平等利用に取り組み、管理運営することができている。</p> <p>▼貸室の予約方法については、定期利用者であっても新規利用者であっても、常に丁寧に説明を行なっている。</p> <p>▼センター便りには、講座や事業の情報を詳しく掲載。毎月欠かさず発行している。平成30年4月から図書だよりも隔月で発行を継続している。</p> <p>▼告知期間や受付期間は、告知が平等に行き渡るように、配慮して設定している。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1270 315 1326 353">A</th> <th data-bbox="1326 315 1382 353">B</th> <th data-bbox="1382 315 1437 353">C</th> <th data-bbox="1437 315 1476 353">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1270 353 1476 831"> <p>■基本方針を適切に策定し、公正・公平な施設運営に取り組んでいると認められることから、要求水準を達成している。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1270 831 1476 1785"> <p>■策定した方針や関係規程等に基づき、適正に取り組んでいると認められる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>■基本方針を適切に策定し、公正・公平な施設運営に取り組んでいると認められることから、要求水準を達成している。</p>				<p>■策定した方針や関係規程等に基づき、適正に取り組んでいると認められる。</p>			
A	B	C	D												
<p>■基本方針を適切に策定し、公正・公平な施設運営に取り組んでいると認められることから、要求水準を達成している。</p>															
<p>■策定した方針や関係規程等に基づき、適正に取り組んでいると認められる。</p>															

3.施設活用事業

例年、囲碁将棋、バドミントン、卓球、バレーボール、親子ファミリー開放、親子卓球の施設活用利用者には、有料利用が優先となる施設活用のルールについて丁寧に説明し、理解した上で利用してもらっている。どの種目の施設活用利用者にも便利のように、毎週水曜日に、翌週の施設活用実施日を決定し告知している。

また、中学生以上の学生を対象に、土日祝日と夏休み・冬休み期間の空き室を活用して、自習室としている。高校生以上を対象の平日夜間帯の自習室利用も行っている。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全ての施設活用事業を12月まで中止していたが、1月より、定員・時間を縮小し感染対策を徹底したうえで一部再開した。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

札幌市の「環境指針」に基づき取り組んでいる。

▼電気・ガス・水道

未使用スペースの消灯の徹底、夜間のトイレ便座スイッチオフ、ガスの温度調整など、節電省エネに取り組んだ。

▼コピー・印刷・事務用品

内部資料は裏紙の使用するなど使い分けて節約に取り組んでいる。OA用品、文具事務用品、トイレトーパー等については、グリーン購入ガイドライン指定品を購入している。

▼札幌市環境マネジメントシステムの各種取り組みを参照し運営している。

▼食器用・洗濯用・手洗い用の全ての洗剤を無添加洗剤に替えた。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼篠路コミュニティセンターの人員配置

職種	配置部署	職務	雇用形態	人数
館長	事務室	統括	常勤	1
副館長	事務室	事務・総務	常勤	1
事務	事務室	事務・総務・経理	常勤	1
事務	事務室	事務・総務	非常勤	2
図書	図書室	図書司書	常勤	1
図書	図書室	図書司書	非常勤	1
図書	図書室	図書業務	非常勤	2
夜間事務	事務室	事務	非常勤	5
清掃	全館	清掃業務	非常勤	2

▼館長・副館長のいずれかは必ず出勤している体制で勤務している。

▼各部署ごとに職務リーダーを配置している。

▼スタッフは自分の担当職以外の仕事も協力しあえる体制をとっている。

▼研修計画に基づいて職員研修を実施している。

▼36協定を締結し、労働基準監督署に提出している。

▼定員・時間を短縮し再開した施設活用事業は、利用者の協力を得ながらスムーズに行う事が出来た。

▼継続的に光熱水費の節約に努めている。トイレに節電ご協力のポスターを貼り、意識付けに努めている。

▼ファイル、コピー用紙などは、一度使用した物を再利用するなど無駄のない使い方を心がけている。

▼スタッフ間で環境マネジメントの研修を行い理解を深めた。

▼協定書に基づき、責任者及び人員を適切に配置している。

▼図書室には司書2名が配属しており、適宜対応が可能で体制をとっている。

▼職種は異なっても、センターの運営上のごことは、全員が責任を持つ。特に講座や事業などの企画立案は、それぞれの得意分野や気づきを活かした取り組みを行なっている。

▼外部研修、内部研修を実施した。

■エネルギー使用量の節約や、資源リサイクル等に積極的に取り組んでおり、要求水準を達成している。

■管理運営業務を適切に行い得る組織が整備されているとともに、従事者が適切に確保・配置されており、要求水準を達成している。また策定した計画に基づく職員研修を実施するなど、人材育成の取組が十分なされており、要求水準を達成している。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼スタッフ全員が参加する会議を毎月1回行い、館全体の運営や、事業の企画、経営、課題の解決に向けての対策など、話し合いを行なっている。
- ▼各部署ごとのミーティングを毎月1回行い、業務の確認と改善、利用者のサービス向上に向けた話し合いをしている。
- ▼朝礼、夕礼を毎日実施。その日の利用状況や翌日の確認など、情報を共有している。
- ▼日報として、毎日引き継ぎ文書を記入作成。全スタッフが同じ情報を共有できるようにしている。
- ▼アンケートや、ご意見箱に投函された利用者の声を活かしながら運営を行っている。

▼毎月1回、スタッフ全員参加の定例会議を開催し情報を共有している。

▼会議やミーティング、朝夕礼では、利用者との係わりの中での気づきや発見、地域の課題を共有している。

▼スタッフは毎月月報を提出。当月の振り返りと、翌月の目標を個々に設定し、業務に取り組んでいる。

■職員全員参加の定例会議を開催するなどにより、職員間の情報共有や意識向上の取組が十分なされれており、要求水準を達成している。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

- ▼第三者委託業務は以下の通り。
 - ①機械警備 ②自家用電気工作物保安管理 ③消防設備点検 ④防火対象物点検 ⑤ボイラー保守点検 ⑥ガスヒートポンプ点検 ⑦受水槽清掃及び水質点検 ⑧エレベーター保守点検 ⑨自動ドア装置保守点検 ⑩舞台装置保守点検 ⑪建築基準法定期点検 ⑫外構緑地管理 ⑬除雪 ⑭定期清掃 ⑮産業廃棄物処理 ⑯古紙回収
- ▼仕様書にある作業回数を遵守し、作業報告書の提出を受け確認している。

▼第三者委託は、札幌市の承認を得て実施している。業者の選定は、市内業者数社から見積もりを取った上で行っている。

▼作業の前後は必ずスタッフが確認し、説明を受けている。

■適正に管理されていると認められる。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼運営協議会の開催状況は下表のとおり。

開催回	協議・報告内容
第1回 6月	1. 委員の紹介 2. 令和2年度収支決算 3. 令和2年度利用実績 4. 令和2年度利用者アンケート集計報告 5. 令和3年度事業計画 6. その他
第2回 8月26日 (木)	1. 交流事業・講座について 2. 藍染活動について 3. 自主事業還元について 4. その他
第3回 12月13日 (月)	1. 今年度の委員紹介 2. 今年度の事業について 3. 修繕について 4. 自主事業還元について 5. その他

▼協定書通り年4回開催した。

▼4回開催のうち第1回と第4回は書面で行い第3回を札幌市と指定管理者で行なった。第1・4回は全ての構成員で開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により第2回のみ全ての構成員で開催した。

■運営協議会が所定の回数開催され、必要な事項について協議がなされており、要求水準を達成している。

第4回 3月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度活動報告 2. 令和3年度の利益還元について 3. 令和4年度事業計画について 4. 令和4年度の運営協議会について
-----------	---

<協議会委員>
 ・篠路茨戸連合町内会(3名)
 ・篠路茨戸地区社会福祉協議会(2名)
 ・篠路茨戸地区民生委員児童委員協議会(1名)
 ・篠路茨戸地区青少年育成委員会(1名)
 ・施設利用者(2名)
 ・「ふれあいわが街」編集者(1名)
 ・篠路チョボラ会(1名)
 ・篠路茨戸まちづくりセンター(1名)
 ・札幌市北区市民部地域振興課(1名)
 ・指定管理者(1名)

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼指定管理業務に係わる収支については、独立した帳簿及び預金口座で管理している。
 ▼現金等の管理については、法人で定めた現金取扱規定により、適正に管理している。
 ▼NPO本部経理部員による内部監査及び公認会計士による外部監査を実施している。
 ▼利用料金、講座、交流事業等の支払いを受けた際には、必ず複写式の領収書を発行し、翌日には口座に入金している。
 ▼釣銭と小口現金は、毎日金種と金額を複数のスタッフが確認し、閉館時に金庫に入れて保管している。金庫の鍵も厳重に管理している。

▽ 要望・苦情対応

▼要望や苦情を受けた際には真摯に伺い、全スタッフが責任と自覚を持って丁寧に対応している。
 ▼毎日の朝礼と夕礼において、報告と対応及び検証を行なっている。
 ▼全スタッフが出席する毎月の会議の中で、出来事や対応を振り返り、事例検討を行なっている。
 ▼利用者との日常会話を大切に、日頃からひとりひとりの声に耳を傾けている。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼全スタッフが出勤時に確認する「日報」の記録によって、館の状況や貸室の手配、利用者に関する情報を共有している。
 ▼「日報」は毎日の朝礼夕礼においても確認し、業務内容ははじめ、利用者や地域の情報を報告している。
 ▼全スタッフは毎月月報を提出。個々の業務の内容についての記録と振り返りを行なっている。
 ▼当館主催事業(講座・交流事業)企画書の内容についてセルフモニタリングを実施している。
 ▼札幌市への検査等への対応についてもスタッフ同士で協力し合い行っている。

▼NPO法人ワーカーズコープ北海道事業本部では、札幌市のコミュニティ施設において統一した経理処理方法を行なっており、当館もそれに沿って財務管理をしている。

▼ロビーに「ご意見箱」を設置しているほか、利用者の要望・苦情を日頃の関わりから迅速に察知し対応できるようにしている。

▼セルフモニタリングを行い、事業の成果を確認しながら業務に取り組んでいる。

▼日報、清掃日誌などの記録をもとに、勤務体制の異なるスタッフ同士が情報を共有し、仕事の引継ぎを行なうことができている。

■財務関係書類を検査した結果、資金や現金等の管理が適正に行われていると認められることから、要求水準を達成している。

■適切に対応していると認められることから、要求水準を達成している。

■各記録を適切に取扱うとともに、アンケートの実施等による適切なセルフモニタリングの実施や、協定書に基づく各報告書類が適切に提出されているなど、要求水準を達成している。

	<p>▼札幌市に求められている報告書は定められた要領で提出している。 ▼令和3年度、札幌市から年2回の実地検査(業務検査、財務検査)を受けた。 ▼ご意見箱の回答やアンケート結果はロビーに掲示している。</p>	<p>▼各種規定、報告書、収支関連、経理関連書類は規定に従い保存している。</p>					
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼入職時には、労働時間・賃金その他労働条件を明記した確認書を交わしている。 ▼パート勤務者には最低賃金889円を上回る890円の時給を支給している。 ▼36協定を締結し、労働基準監督署長に届けている。 ▼全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入している。 ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて社会保険に適切に加入している。また必要に応じて適切に届け等を行っている。 ▼雇入れ時に健康診断を実施している。 ▼1年に1回定期健康診断を実施している。 ▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。 ▼指定管理者の申込時に提出した、ワークライフバランスの取り組みに、新たな取り組みを加えて適切に実施している。 ▼事務機器や什器等については、作業に適した操作が行えるよう配慮して配置している。</p>	<p>▼法人の組織運営及び就業規則を記した冊子をスタッフ全員に配布するとともに、いつでも閲覧できるように事務室内に設置している。</p> <p>▼スタッフの健康管理のために、管理職以外に衛生管理推進者を置き管理しているほか、勤務体制もそれぞれの希望をなるべく配慮してシフトを作成し無理のない体制を心掛けている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>■関係法令が遵守され、また、職員の良い雇用環境が確保されていると認められることから、要求水準を達成している。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼職員は、朝、昼、夜のほか、適宜館内を見回り、利用者の安全の確認を行なっている。閉館前には最終確認として、夜間スタッフが見回りを行い施錠している。 ▼全ての貸室に、緊急避難経路を掲示している。 ▼緊急対応マニュアル、危機管理マニュアルを作成し、スタッフに周知徹底している。 ▼設備関係等の外部機関緊急対応表、スタッフ緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整えている。 ▼拾得物、紛失物は、発生日時・場所・内容・担当者を台帳に記載し、適正に管理している。貸室利用直後に発見した忘れ物は、該当の利用者に連絡を取り、迅速に持ち主に返却できるようにしている。 ▼保険については以下の通り加入している。 ・NPO法人ワーカーズコープとして「企業総合賠償責任保険」に加入。 指定管理者の過失により公の施設またはその設備を損傷した場合、または利用者に対して身体及び財産上の損害を与えた場合 身体賠償 1名1億円 1事故4億円 対物賠償 1事故1000万円 ・篠路コミュニティセンターとして「行事保険」に加入。 区民講座、地域交流事業参加者の事故、怪我に対応。</p>	<p>▼館内外に異常な箇所が無いが、定期的に意識して巡回を行なっている。</p> <p>▼貸室内の備品については安全に留意して配置している。それぞれの部屋の利用目的により針の忘れ物、鏡の転倒など危険が伴わないよう配慮する工夫も意識して行っている。</p> <p>▼拾得物は、利用者の目に止まりやすいようガラスケース内に置き、時計など高価な物と判断する場合は金庫で保管している。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>■利用者等の安全確保が適切に行われ連絡体制が確立していることに加え、適切に損害賠償保険に加入しているなど、要求水準を達成している。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

- ▼日常清掃は、毎日自前で実施している。定期清掃もできるだけ自前で行なっているが、大がかりで難しいところは委託。仕様書に基づいた回数を行なっている。
- ▼機械警備を第三者に委託。業務内容は警備日報で毎日確認するとともに、月末に出退記録を提出してもらっている。
- ▼保守点検については、仕様書に基づき定期的に行なっている。
- ▼修繕が必要となった事項は札幌市と協議の上、協定書に基づき札幌市または指定管理者が負担し、対応した。修繕したものは以下の通り。
【指定管理者負担】

 - ・ 身障者用トイレ修繕
 - ・ ガス空調設備GHP室外機冷媒漏溶接
 - ・ ガス空調設備室内膨張弁等交換
 - ・ ガス空調設備室外機四方弁不良交換
 - ・ ガス空調設備室外機スターター交換
 - ・ ガス空調設備室外機動作不良応急処置
 - ・ ガス空調設備室外機ECU基板交換

▽ 防災

- ▼消防計画を策定し、11月・3月に通報・避難訓練を実施した。
- ▼緊急時対応について、マニュアルの周知徹底を行なっている。

▼外構緑地管理のうち、草刈は毎年コミセン横パークゴルフ場運営委員会に委託。地域の方が担ってくれており、週1～2回行っている。

▼簡易な修繕は、スタッフがを行い、迅速に対応している。

▼避難訓練を実施し、通報・避難誘導等を再確認した。
▼当館が地域避難場所であることから、緊急時を想定し、防災備品を定期的に確認し補充するなどしている。

■各維持管理が適切になされており、要求水準を達成している。

■計画に基づき適切に取組が行われており、要求水準を達成している。

(4)事業の計画・実施業務

▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務

令和3年度	計画	実績
講座数	36	14
回数	76	22
受講生数	313	125

講座名	定員	受講者数	定員達成率	理解度	満足度
COCOemi親子食育	12	10	83	100	100
藍染体験	18	18	100	100	100
1日司書体験	2	2	100	100	100
親子クリスマスキャンドル	9	14	156	100	100
クリスマスキャンドル	8	10	125	100	100
壁掛けツリー	10	10	100	100	100
札幌歴史探訪	10	9	90	100	100
I♡地元みんなのおうちまちづくり	20	2	10	100	100
I♡地元みんなのおうちまちづくり映画上映	30	19	63	100	100
お正月リース	10	10	100	100	100
冬休み書初め	6	5	83	100	100
自分でできる簡単な本の修理	4	3	75	100	100
本の装備 ～ブックカーのかけ方ワークショップ～	8	5	63	100	100

▼新型コロナウイルス感染拡大のため中止したのもあったが、状況を見ながら感染予防対策を徹底してできるだけ開催するよう取り組んだ。

▼本と出会う読書会体験講座は、サークル化に繋がった。

A B C D

■新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、可能な限り各種講座を実施し、要求水準を達成している。また、実施した講座において受講者の理解度・満足度が高かったことは評価できる。

本と出会う読書会体験	8	8	100	100	100
3B体操	6	中止			
はじめてのアート書道	6	中止			
身体も心も健康に！ Let'sフラダンス	6	中止			
初めての韓国語	6	中止			
ブリザーブドフラワーで作る仏花	8	中止			
簡単ヨガ体操	8	中止			
手作りグラノーラ	8	中止			
篠路シルバー水曜大学	65	中止			

▽ 地域住民の交流を目的とした事業に関する業務

令和3年度	計画	実績
行事数	15	7
回数	433	256
参加者数	3,923	1,676

事業名	実施日数	計画人数	参加人数	参加目標達成率
おはなしの会まんまるころころ	7	120	70	73%
コミセンはつらつ！健康体操教室	11	770	534	87%
朝のラジオ体操	229	2,520	904	45%
コミセンウォーキング会	3	105	98	117%
きずなサロン	3	240	20	42%
ぬいぐるみおとまりかい	1	5	5	125%
篠路コミセンワンコインコンサート	1	80	45	70%

▽ 地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)に関する業務

種目	令和2年度		令和3年度	
	回数	参加者数	回数	参加者数
バドミントン	0	0	0	0
バレーボール	0	0	0	0
卓球	0	0	2	5
囲碁将棋	0	0	0	0
自習室	0	0	3	5
親子卓球	0	0	0	0
親子ファミリー	0	0	0	0
ロビー常設 囲碁・将棋	0	0	0	0
ロビー常設 きッズコーナー	0	0	0	0
ロビー常設 カードゲーム	0	0	0	0
合計	0	0	5	10

▼新型コロナウイルス感染拡大で中止となった講座は8講座。3B体操に関しては、6月、10月、11月と開催を再度計画しても行えなかった。

▼新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度に続き、主な行事が全て中止となり、回数・参加者数が計画より減少した。

▼おはなしの会は、地域の有志がスタッフと共に運営し内容及び参加者数の向上、スタッフのスキルアップを図っている。

▼毎朝ロビーで行っているラジオ体操は、身近な健康づくりの場として地域の方が参加している。

▼長いコロナ禍、音楽で地域住民を元気にと企画したワンコインコンサートは、大盛況に終わりシリーズでの開催が決定した。

▼新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域の憩いの場づくり施設活用事業は12月まで中止していたが、定員・時間を縮小し、感染対策を徹底して1月から再開した。

■新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、可能な限り事業を実施し、要求水準を達成しているものと認められる。今後も様々な事業を企画・実施し、多くの方の来館につながることを期待する。

■新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、可能な限り事業を実施したことは評価できる。

▽ 図書業務

▼利用状況

【開室日数・貸出数・レファレンス件数等の前年比】

	令和2年度	令和3年度	増減
開室日数	254	205	-49
貸出冊数	39,166	39,171	5
利用者数	12,674	12,005	-669
レファレンス件数	225	185	-40
利用者案内数	275	296	21

一般特集		児童特集	
4/18～ 5/2	本屋大賞	4/18～ 5/2	「朝読書におすすめ」 「知ろう選挙」
5/20～ 6/20	中止	5/20～ 6/20	中止
6/20～ 7/21	中止	6/20～ 7/21	中止
7/21～ 8/20	「北海道の作家」 「直木賞・芥川賞」	7/21～ 8/19	「北海道の絵本作家」 「のりもの」
8/20～ 9/19	食	8/20～ 9/19	「たべること」「戦争と 平和について考える」
9/21～ 10/19	芸術の秋に 美術の本	9/21～ 10/19	美しい絵本
10/22～ 11/19	世界は色に あふれてる	10/22～ 11/19	いろいろ なにい ろがすき？
11/20～ 12/19	おもしろくてす ぐ読めちゃう本	11/20～ 12/19	「どうぶつだいすき」 「のぞいてみよう！ 宮沢賢治の世界」
12/21～ 1/19	寺社仏閣	12/21～ 1/19	「シュールな絵本」 「新書からあなたへ 贈る言葉」
1/19～ 2/19	芥川賞・直木 賞過去の受賞 作	1/19～ 2/19	「しぜんのおくりも の」「SDGsをもっと みぢかに」
2/21～ 3/19	健康習慣はじ めませんか	2/21～ 3/19	「しようかいするぜ おれ のなかまたち 恐竜」「中 学生から・中学生までに 知っておきたいこと」
3/20～ 4/19	読んでから観 る？観てから読 む？映像化小説	3/20～ 4/19	「春ですね」 「未来の自分へ」

▼職業体験・施設見学等 百合が原小学校2年生施設見学 10/21 篠路小学校2年生現地学習 11/4 ▼七夕かざり 7/10～8/7 ▼ぬいぐるみおとまりかい 12/17・18 ▼講座 ▽一日司書体験講座 11/6 ▽本の修理講座 1/28 ▽本の装備講座 2/25 ▽本と出会う読書会体験講座 3/25

▼新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休室およびセンター開館時間の変更に応じ、都度利用案内を掲示するなど利用者対応に努めた。◆5/4～7/11休室◆7/13～10/30緊急事態宣言、まん延防止措置期間のため利用制限に応じてサービスを継続◆11/1～利用時間の制限を解除(ただし短時間・閲覧席の間引きは継続)

▼月1回、図書スタッフミーティングを実施。日常業務の確認、図書室の環境改善について話し合っている。

▼一般・児童それぞれ月替わりで特集展示をし、利用しやすい図書室、読書環境を整えている。

▼メディアで話題になった等のテーマで、ミニ展示等を都度企画している。

▼事業ほか 密を避けて開催できるように検討。現地学習・施設見学は近隣の小学校2校。

■要求水準を満たしているとともに、図書室の利用促進に向けて様々な取組を行っていることは評価できる。

おはなしの会まんまるころころ
毎月第3土曜日 午前10時30分～11時30分

年間合計参加人数70人

4月	8人	8月	中止	12月	14人
5月	中止	9月	中止	1月	6人
6月	中止	10月	14人	2月	0人
7月	中止	11月	16人	3月	12人

篠路天然藍染協議会と連携し、以下の藍染体験事業を行ったが、子ども藍染体験講座・しのろフットパス藍染体験講座は、休館のため中止となった。
今年度も敷地内に畑をおこし藍を育てた。

・藍染体験講座(各1回)
10月16.23日(土).31日(日)

▼おはなしの会 月に1度、季節や参加者の年齢を鑑みた絵本や紙芝居等の読み聞かせ、わらべうたや簡単な工作も行う。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて中止、または感染防止対策を講じながら実施した。次年度も感染防止に努めながら、読書を通して地域住民のふれあいの場づくりを目指す。

▼老人施設での読み聞かせ 例年ボランティアとして参加しているが令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため訪問を自粛。次年度は状況を見て、活動再開を目標とする。

▼令和3年度末、地域還元として自主事業費で図書を購入し、図書室に寄贈し、読書環境の充実を図った。(一般書・児童書計138冊)

▼ロビーの藍染展示コーナーは、藍染サークルの方が交代で作品を展示している。

■篠路地域固有の歴史を通して、地域おこしに結び付く取組を行っていることを評価する。

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R2実績	R3計画	R3実績
ホール	件数(件)	673	835	632
	人数(人)	16,331	30,000	28,118
	稼働率(%)	35.0	77.5	80.8
集会室1	件数(件)	468	556	363
	人数(人)	3,073	4,500	2,381
	稼働率(%)	49.9	51.6	51.0
集会室2	件数(件)	317	366	264
	人数(人)	1,488	2,500	1,395
	稼働率(%)	35.3	33.9	38.1

▼全体の稼働率は、平成30年度50.2% 令和元年度47.6% 令和2年度31.5% 令和3年度39.9%となり、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による利用のキャンセルや自粛要請等のため稼働率が低下しているが、令和3年度は令和2年度に比べ8.4%改善がみられた。

A	B	C	D
---	---	---	---

■要求水準を達成していると認められる。
新型コロナウイルス感染症の影響等により、利用件数・人数は計画を下回ったが、稼働率は前年度を上回る結果となっていることは評価できる。

会議室 1	件数(件)	446	619	345
	人数(人)	6,014	8,000	5,172
	稼働率(%)	46.7	57.5	46.7
会議室 2	件数(件)	466	756	393
	人数(人)	2,536	6,500	2,396
	稼働率(%)	44.3	70.1	45.6
和室 1	件数(件)	293	386	256
	人数(人)	2,630	3,000	2,104
	稼働率(%)	31.9	35.8	35.1
和室 2	件数(件)	171	206	151
	人数(人)	826	1,800	983
	稼働率(%)	19.0	19.1	21.8
料理室	件数(件)	64	96	44
	人数(人)	358	700	287
	稼働率(%)	6.8	8.9	5.6
視聴覚室	件数(件)	390	708	348
	人数(人)	1,582	2,000	1,637
	稼働率(%)	39.4	65.7	45.7
藍染室	件数(件)	37	110	50
	人数(人)	129	700	223
	稼働率(%)	2.9	10.2	4.7

▽ 不承認0件、取消し972件、減免0件、還付78件

▽ 利用促進の取組

▼講座からのサークル化を目指して、講座の企画・コーディネートを行なっている。
▼窓口では丁寧な説明を心がけ、時間貸し、延長などの利用方法を知ってもらうよう努めている。
▼キャンセル制度について理解してもらい、利用の変更があった場合は、利用者の負担が少なくなるようなアドバイスをしている。
▼“サークル募集ポスターの掲示”“サークルメンバー募集フェスタの開催”を通し既存のサークル活動の継続やメンバーの増員に協力している。新規サークルを目指す問い合わせにも丁寧に寄り添うよう説明している。

▼夜間延長利用、時間貸し利用が増えている。

▼人数制限が解除され、令和2年度と比べて件数は減少したが利用者数が増加した。

▼キャンセル制度を丁寧に説明し理解してもらうことにより、令和2年度と比べ、利用者の金銭的負担が少ない「変更」利用が多くなった。

▼講座は、空き室の多い曜日と時間に開講した。また、サークル化につなげる事で貸室の稼働率向上を目指した。

▼コロナ禍で、既存のサークルメンバーの減少が目立つ。増員を目標に講座を開催したが、休館等により中止になった講座も少なくなかった。

引き続き、利用促進に向けた取組を継続するよう期待する。

<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼センター便り「こみしん」を毎月発行している。篠路茨戸連合町内会と太平・百合が原連合町内会、計73町内会、約15,000世帯に回覧している。</p> <p>▼冊子「札幌市からのお知らせ」のほか、地域新聞「ふりっぱー」に講座、地域交流事業の案内を掲載している。</p> <p>▼地域の新聞販売店のミニコミ紙「ふれあいわが街」に、地域に広く伝えたいセンターの情報を記事として扱ってもらい、地域に発信している。</p> <p>▼ホームページには、講座や地域交流事業のお知らせ、施設活用事業の最新情報を掲載している。</p> <p>▼玄関ホールとロビーに掲示板を設置。「こみしん」のカラー拡大版、施設活用カレンダー、講座、地域交流事業、図書室のお知らせを掲示している。</p> <p>▼ロビーに、サークル活動のポスターを設置。活動紹介やメンバー募集など、各サークルが工夫を凝らしたPRを行なっている。</p> <p>▼ウェブアクセシビリティの方針に基づいた対応に取り組み、多くの皆様に「使いやすい」「見やすい」と感じていただけたホームページを目指した新しいHPを令和3年9月に公開した。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前回からの継続指定のため、引継ぎ業務なし</p>	<p>▼平成22年7月から、毎月1回「こみしん」を発行している。令和4年3月号で141号となった。</p> <p>▼「ふれあいわが街」の記者と連携を取り、行事や情報を記事として掲載してもらっている。</p> <p>▼地域新聞「ふりっぱー」に掲載した講座は申し込みが多い傾向にある。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>■適切に取組が行われていると認められ、要求水準を達成している。引き続き、利用者の立場に立った広報業務を行っていくことを期待する。</p>	A	B	C	D												
A	B	C	D																
<p>2 自主事業その他</p>																			
<p>▽ 自主事業</p> <p>▼自動販売機(3台設置) 販売手数料収入 191,087円</p> <p>▼古紙回収 回収手数料収入 16,860円</p> <p>▼フットパスガイドマップ販売 販売手数料 300円 ※販売手数料1冊150円、今年度は2冊販売</p> <p>▼マスク販売 販売枚数9枚 収入450円</p> <p>▼上記収入合計 208,697円</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼第三者委託している業務は、全て市内企業に発注している。</p> <p>▼障がい者就労施設「ていねさくら館」によるパンとおかしの販売を定期的に受け入れている。</p>	<p>▼行事の前には、各業者に連絡を入れ、自動販売機の補充を行なっている。</p> <p>▼フットパスガイドマップは、出版から年数が経っているが毎年一定数購入されている。</p> <p>▼マスクを忘れた方には大変喜ばれている。</p> <p>▼障がい者就労施設のパン販売の日程は館内掲示と「こみしん」、ホームページでお知らせしている。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	A	B	C	D					<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>■市内企業の活用や障がい者就労施設の受入を行うなど、適正に事業が実施されているものと認められる。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D																
A	B	C	D																

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	実施期間 1月4日～3月31日 配布部数400枚 回収259枚 回収率64.7%
結果概要	<p>回答者の内訳</p> <p>性別 男性82名 女性168名 回答なし2名 年齢 70代以上144名 60代46名 50代15名 40代22名 30代10名 20代8名 10代8名 回答なし6名</p> <p>居住地域 篠路118名 太平百合が原44名 拓北あいの里29名 その他北区29名 北区以外43名 回答なし2名</p> <p>利用頻度 週に数回76名 月に数回123名 年に数回35名 ほとんど利用しない16名 回答なし9名</p> <p>交通手段 自動車178名 公共交通機関25名 自転車13名 徒歩57名 その他1名</p> <p>1.本日はどのような目的で来館されましたか？ 貸室(サークル活動など) 201名 図書室29名 その他25名 回答なし4名</p> <p>2.本日の利用目的以外で当センターを利用したことがありますか？ ある 127名 ない 95名 〈利用詳細〉 貸室(サークル活動など) 40名 一般開放 10名 図書室 64名 きっずコーナー 1名 イベントその他 23名</p> <p>3.貸室(サークル活動など)を利用された方にお聞きします。また貸室を利用したいと思いますか？ ぜひ利用したい 160名 利用したい 28名 利用したくない 2名 どちらでもない 12名</p> <p>《評価の理由・ご意見など》 ・近所なので利用しやすい ・利用料金が安い ・利用料金が少し高い ・きれい ・部屋が広くて使いやすい ・部屋の鏡が不便 ・趣味の時間が持てた</p> <p>4.図書室を利用された方にお聞きします。</p> <p>・また当センターの図書室を利用したいと思いますか？ ぜひ利用したい 107名 利用したい 18名 どちらでもない 12名 あまり利用したくない 5名 利用したくない 9名</p> <p>《評価の理由・ご意見など》 ・予約すると市内のどの図書館のものでも取り寄せて頂けるので便利 ・職員の対応が良い。皆様親切 ・近いので通いやすい ・予約で本が貸してもらえる。ただ文庫本は古い。汚れている。 ・子供達や保護者も多数利用しています ・本の数が少ない ・見たい本が少ない ・静か</p>

▼アンケートの結果は、より良い運営に生かすよう会議でのテーマとし、スタッフ全員で話し合い改善策を考え向上に努めている。

▼今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による来館者の減少などのため、配布枚数も少なく、回収率も低かった。

▼70%以上の利用者から「利用したい」との評価をいただいた。

▼職員は日頃から笑顔と丁寧な対応を心掛けている。

▼利用者アンケートと共に生の声も大事にして今後の運営に生かしていく。

▼札幌市の中でも1番狭い図書室ではあるが、その分、常に棚の整理整頓を心掛けていたり、気軽に本を手にとってもらえるような配置の工夫、目に留まるPOPの作成など創意工夫をしている。

A	B	C	D
<p>■利用者アンケートの調査結果は要求水準を上回るものとなっており、評価できる。アンケートの結果を受けて利用者のニーズを的確に把握することで、今後のより良い施設運営に生かしていくことを期待する。</p>			

5. 講座を受講されたことがある方にお聞きます

・講座は満足していただけましたか？

満足 …61名
 やや満足 …20名
 どちらでもない …8名
 やや不満 …0名
 不満 …0名

・講座は分かりやすかったですか

大変分かりやすい …54名
 分かりやすい …18名
 どちらでもない …9名
 分かりにくい …1名
 大変わかりにくい …0名

・講座を何で知りましたか

広報さっぽろ・データ放送 …11名
 札幌市からのお知らせ(冊子) …9名
 ふりっばー …6名
 掲示板・ポスター …18名
 ホームページ …2名
 その他 …15名

みなさまにお聞きます

6. 施設の雰囲気やサービスはいかがですか？

とても良い …155名
 良い …44名
 普通 …13名
 悪い …1名
 とても悪い …0名

評価など・非常に良い(職員の対応)

- ・普段も良いのですが、コロナのためにそれ以上に気を使っているのがわかる
- ・今後も使いたいから
- ・ホール半面使用の時、他サークルの音が大きくて迷惑している

7. 職員の言葉遣いや態度はいかがですか？

とても良い …164名
 良い …447名
 普通 …8名
 悪い …0名
 とても悪い …0名

評価など…とても親切で丁寧な言葉づかいです。

- ・皆さんおだやか。話しやすい。
- ・明るくあいさつが嬉しいです。

8. 館内の清掃状況はいかがですか？

とても良い …155名
 良い …42名
 普通 …16名
 悪い …0名
 とても悪い …0名

評価など…

- ・いつもきれいで感謝です
- ・きれいで良い(特にトイレ)
- ・以前はトイレが…でも今はとても良くなり良かったです

▼講座の満足度が高い。内容、受講料とも、利用者に満足してもらえる講座を開講することができた。

▼館内の数か所にポスターを掲示すると共に、気軽に持ち帰ることが出来るようA5サイズのミニポスターを配置している。

▼大きなイベント時には来館者に講座や行事を知ってもらうための手段として入口付近にチラシコーナーを設置している。

▼概ね館内等は良いとされているが、施設の老朽化以上に備品の劣化が激しくなっており、少しずつではあるが、自主事業による利益還元などで備品を購入している。

▼日頃から笑顔・挨拶を心掛けているが今まで以上にスタッフ一人一人の意識の向上を目指す。

	<p>9.コミュニティセンターのホームページをご覧になったことがありますか</p> <p>ある ……55名 ない ……151名</p> <p>ご意見など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見やすく良いと思います ・色々な事に参加など事業的にも良いことが多い ・わかりやすいです。職員照会などあるともっと親しみやすくなると思います ・イベント等とても参考になることが多い ・充実している 	<p>▼すべての希望を取り入れるのは難しいが、今後もできる限り改善していく。</p>	
<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<p>10.施設に関するご意見・ご要望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナが落ち着いたらまた文化祭を開催してほしいです。 ・地域交流をはかれるイベントが月一回程度開催されると嬉しい。 ・時間貸しは良いのですが、少し融通があったらいいと思います。 ・暖房が低いときがあります。 ・セクシュアリティは男性女性の2つだけではありません。「性別」という項目は必要ないです。性別欄は廃止してください。 ・図書室、もう少し本の量があればうれしいです。 ・スタッフの対応が良いです。 ・いつも気持ちよく利用させていただいています。これからも楽しいコミセンでありますよう。 	<p>▼利用者からの意見要望にはできる限り回答をし、利用者アンケート集計表をロビーに掲示している。</p>	

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	R3計画	R3決算	差(決算-計画)
収入	38,940	39,331	391
指定管理業務収入	38,645	39,122	477
指定管理費	27,571	27,571	0
利用料金	10,629	7,629	▲ 3,000
その他	445	3,923	3,478
自主事業収入	295	209	▲ 86
支出	38,663	39,124	461
指定管理業務支出	38,609	39,072	463
自主事業支出	54	51	▲ 3
収入-支出	277	207	▲ 70
自主事業による利益還元	227	149	▲ 78
法人税等	50	50	0
純利益	0	8	8

【参考】	R3決算	内容
指定管理業務による利益還元	244	下記のとおり

▽ 説明

- ▼その他収入には、講座・交流事業に係る収入と、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館に係る指定管理費の見直し分3,753千円が含まれる。
- ▼自主事業収入は、計画より86千円の減となった。
- ▼指定管理業務支出は、計画より463千円の増となった。
- ▼自主事業による利益還元は、計画より78千円の減となった。
- ▼指定管理業務による利益還元として244千円分の備品を購入した。
- ▼利益還元は、下記の内容に使用した額である。
 - 【自主事業による利益還元】
 - ＜購入備品＞
 - ・貸室用プロジェクター1台
 - ・図書室図書購入
 - 【指定管理業務による利益還元】
 - ＜購入備品＞
 - ・ウォシュレット便器
- ▼収支は計画に対して+8千円となった。

▼新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのキャンセルや休館に伴い、利用料収入が大幅に低下したが、利用料補填もあり最終的には収入は予算を上回った。

▼利用の減少に伴い自主事業収入(自販機販売手数料)も減少した。

▼ウェブアクセシビリティに配慮したHP更新に費用がかかり支出が予算より大幅に増加した。

A B C D

■新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、計画を上回る収入を確保し、計画的な予算執行に務め適正に運営されている。また、積極的な利益還元を行ったことは評価できる。

▽ 安定経営能力の維持

- ▼NPO法人ワーカーズコープは全国に事業所を持つ組織であり、万が一単独の事業所が赤字の場合でも、他の事業所の利益で補うことができる。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

- ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。
- ▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。

適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>▼貸室利用状況の変化 新型コロナウイルス感染症に伴う休館や緊急事態宣言等で利用件数は減少したものの、利用人数が大幅に増加している。キャンセルや自粛要請によるサークル活動休止のため部屋の利用は減少したが、ホールの利用件数が増加しており利用人数に繁栄されている。 キャンセルなどの対応については、対象利用者に丁寧に説明し理解いただいた。また、取り扱い基準の変更などは速やかにHPを更新してお知らせした。</p> <p>▼講座・地域交流事業・施設活用事業 講座については、休館や緊急事態宣言等で中止になったものも多く、計画の1/3程しか開講出来なかったが、内容的にはどれも満足度の高い講座となった。 施設活用事業については、1月から時間・定員を縮小しながら感染対策を徹底し再開した。 地域交流事業は、昨年に続き対策をとることができる健康体操教室、毎朝のラジオ体操、絵本の読み聞かせを開催した。中止になっていた「きずなサロン」は、飲食を伴わない形で、高齢者の集いの場所として再開した。</p> <p>▼地域とのかかわり 篠路コミュニティセンター横「コスモスふれあい畑」を管理しているコスモス会の会員の高齢化に伴い、榊花壇の整備を継続して行っている。お互い様の気持ちで地域との繋がりを今後も広めていきたい。また、今年度も引き続き地域のボランティアの方が、毎週花壇の手入れやゴミ拾いなどを行ってくれた。</p> <p>来館者に喜んでもらえるようにと閑散としたロビーを季節の行事にあわせて装飾。多くの方が写真を撮ったり足を止めて眺めて行かれた。ハロウインの時期には、コスモス会や地域の方がおもちゃかぼちゃを提供してくださり、装飾に使ったり、来館者に自由に持ち帰ってもらい大変喜ばれた。</p> <p>▼地域住民に元気を 長いコロナ禍でふさがちな気持ちを“音楽を通して元気になって欲しい”という思いから、世界の音楽に触れ、癒しと旅行気分を味わってもらいたく、ミニコンサートを企画。大盛況で終わり、今後もシリーズで行っていく。</p> <p>▼ホームページ作成 現在ウェブアクセシビリティの方針に基づいた対応に取り組んでおり、多くの皆様に「使いやすい」「見やすい」と感じていただけるホームページを目指した新しいHPを令和3年9月に公開している。</p>	<p>▼新型コロナウイルスとの共存・共生 新型コロナウイルスの感染対策が緩和されてきている中、“できない”ではなく、“どうやったらできるか”を探り、感染対策を徹底したうえで地域のニーズをとらえ、魅力ある講座・交流事業を展開していく。</p> <p>▼サークルの存続・新規サークル化 長いコロナ禍で解散したサークルが出る中、存続できるよう館でも工夫・協力を怠らず努力していく。また、新規サークル化に繋がる講座を開催し利用率の低下を防ぐ。</p> <p>▼地域のニーズをつかむ 篠路茨戸地区の高齢化に伴う地域が抱える問題や貧困問題、子育て環境など、問題の解決は難しいとしても当館の果たすべき役割を考え事業を継続していく。</p> <p>▼職員のスキル、意識向上を図るため積極的に様々な研修に参加し管理運営に反映させていく。</p> <p>▼地域の居場所として 誰もが気軽に訪れることができ、ここに来ることで気持ち明るくなり笑顔になれるよう、利用者の立場に立った丁寧な対応を継続し、「また明日行こう」と思うコミュニティ施設を目指していく。</p> <p>▼コミュニティ施設の目的「コミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及及び振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する」が果たされるよう、職員一丸となり誰からも親しまれる館づくりを目指し、適切な管理運営を行っていく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、施設の設置目的に沿った適切な運営管理が行われている。積極的な施設の利用促進に務めており、利用者からの評価も高い水準を維持していることは評価できる。</p> <p>引き続き、円滑な施設運営を行っていただくとともに、利用者のニーズを踏まえながら様々な事業に取り組み、更なる利用促進を図っていくことを期待する。</p>	<p>改善指導・指示を要する事項は特になし。</p>